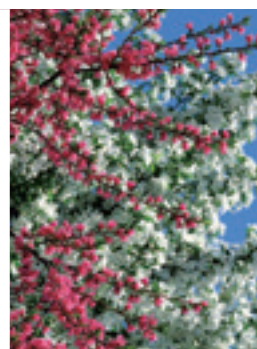


すずかけヘルスケアホスピタル広報誌

PLATANUS

Vol. 17
Spring 2017

Suzukake healthcare hospital Quarterly Magazine 【すずかけの樹】



すずかけヘルスケアホスピタル

第6回 地域の絆

～当院は地域を結ぶ架け橋を目指します!～

高齢化社会を迎え、急性期病院では呼吸器系疾患による入院患者さんが増加しています。磐田市においても、誤嚥性肺炎による入院患者さんの数が増え、急性期病院としての機能に支障をきたす事態が予測されるようになりました。

そこで、平成28年4月より、磐田市立総合病院と当院で協働して「誤嚥性肺炎減らし隊」の活動をおこなっています。地域の介護施設などを訪問し、職員に対して誤嚥性肺炎予防のための啓発活動に取り組んでいます。

3/9(木) 実施の
「誤嚥性肺炎減らし隊 実践編」講義の様子



当院歯科衛生士も大活躍



歯科コラム

～お口のおはなし～

●歯科医師 桃子先生の ワンポイントアドバイス!



歯科治療は健康なうちに完了しておきましょう

入院患者さんのお口の中を診て思うことなのですが、入院生活になると治療内容によっては診療を受けられないことがあります。また、ご自宅で往診歯科診療を受けられる方は特に治療内容が限られてきてしまいます。日頃から定期健診を受けてお口の中の健康を維持しておくことがとても大事な事になるんですよ。

●入れ歯のおはなし

入れ歯は痛みなどが無くても定期的に歯医者さんに行って咬み合わせのズレや異常がないか見てもらいましょう。

栄養科だより

～食塩の摂取量～

高血圧の予防、治療のためには1日の食塩摂取量は6g未満にすることが望ましいと考えられています。また、食塩摂取量が多くなると胃癌のリスクが高くなるといわれています。これらの理由から減塩食が推奨されていますが、平成27年の国民健康・栄養調査では平均10g摂取しているという結果でした。

減塩の方法には、味付けを薄くする、食塩の含有量の多い食品の摂取量を減らす、味を表面につけ使用量を減らすなどの方法があり、自分に合った方法を取り入れて塩分の少ない食事に慣れていくのが長続きするコツです。

市販品には食塩相当量が記載されているものが多いです。まず、これらの表示をみてどのくらい含まれているか意識して選ぶようにするのも減塩の1つの方法です。

ナトリウム値しか記載されていない場合はナトリウム400mgがおおよそ食塩1gと覚えておくと便利です。



第12回 リハビリ広場

～当院で働くリハビリ職員について～

当院に入院している患者さんやご家族から、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の違いについてよく質問があります。今回改めてこの3つの職種について簡単に説明します。

理学療法士 (PT)



寝返り・起き上がり・歩行等、日常生活に必要な基本動作について関わります。

起き上がる

座る

立つ

歩く

作業療法士 (OT)



物を使い「その人らしく生活する事」を考え、日常生活や趣味活動等、生活全体について関わります。

日常生活動作

環境調整

趣味活動

家事

言語聴覚士 (ST)



話すことや表現すること等のコミュニケーション機能や、食事等について関わります。

伝える

理解する

食べる

飲み込む

退院した後の生活が、患者さん・ご家族にとってより良いものとなるように、それぞれの役割を持った療法士が、連携してリハビリテーションを実施しています。

第1回 リハビリテーション病院としての取り組み

安心して自宅で生活を送っていただくために ～退院前訪問指導～

自宅に戻られる予定の患者さんが、退院された後も、自宅にて安全で快適な生活を継続することができるよう、療法士がご自宅を訪問します。介助が必要な場所や、生活する上で支障になりそうな場所などを、実際に見て確認します。

その後、どんな改修や福祉用具が必要なのか、既存のものや工夫で代用できないのか等を、患者さん・ご家族と一緒に検討し、必要に応じて住宅改修や福祉用具の提案をします。ご自宅に伺うことが困難な場合は、家屋の写真や図面などを提供いただいて対応しています。



すずかけインフォメーション

ご存じですか？ 避難情報の変更

近年、全国的に大規模な土砂水害災害の発生が多いことから、平成29年1月より公的機関から出される避難情報の名称が変更になっています。当院がある磐田市南部の多くの地域が、天竜川・太田川の氾濫時に浸水が想定される地域です。詳細は磐田市のハザードマップをご覧ください。

変更前	変更後
「避難準備情報」	「避難準備・高齢者等避難開始」
取るべき行動▶ 高齢者・体の不自由な方・小さなお子さんがいらっしゃる方・避難に時間がかかる方とそれを支援する方、川沿いに住む方は避難を開始。	
「避難勧告」	「避難勧告」
取るべき行動▶ 速やかに避難。外が危険な場合は、屋内の高いところへ。	
「避難指示」	「避難指示(緊急)」
取るべき行動▶ 緊急に避難。外が危険な場合は屋内の高いところへ。	

外来担当表

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
脳神経外科・内科 リハビリテーション科	8:30~12:00		久野		久野	
脳神経外科・内科 認知症相談	8:30~12:00			西川		西川
整形外科・リウマチ科 リハビリテーション科	月・水 8:30~12:00 火・金 10:00~12:00	草部	草部	草部		草部
循環器内科	水 9:00~12:00			井口		
リハビリテーション	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
禁煙外来 完全予約制	14:00~16:00		久野			

※学会出席等で、担当医師変更や休診となる場合があります。
※休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、GW5/3~5/5・年末年始12/30~1/3
※診察には事前予約が必要となります。お電話にて予約をお願いいたします。
※火・木の脳神経外科・内科は**完全予約制**となります。ご了承ください。
※火・金の整形外科・リウマチ科は**完全予約制**となります。ご了承ください。

診療科・医師紹介

脳神経外科	病院長 久野 智彦 脳神経外科・リハビリテーション科 日本脳神経外科学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導医 義肢装具等適合判定医師
整形外科	副院長 草部 拓馬 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科 日本整形外科学会認定専門医 日本リウマチ学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導責任者 義肢装具等適合判定医師
脳神経外科	常勤 西川 方夫 脳神経外科 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本認知症学会専門医 認知症サポート医
リハビリテーション科	常勤 高橋 麻美 リハビリテーション科 日本リハビリテーション医学会認定専門医 義肢装具等適合判定医師
循環器内科	非常勤 井口 恵介 循環器内科・総合内科 日本内科学会認定総合内科専門医 日本循環器学会認定循環器専門医
リハビリテーション科	非常勤 蓮井 誠 リハビリテーション科 日本リハビリテーション医学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会指導責任者 義肢装具等適合判定医師
歯科	非常勤 横小路 桃子 歯科 日本口腔外科学会口腔外科専門医 歯科医師臨床研修指導医 日本アンチエイジング歯科学会認定医 インフェクションコントロールドクター 日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師

※歯科の外来診療は行っておりません。 平成29年5月現在

■ 病院概要

回復期リハビリテーション病棟(106床)・医療療養病床(54床)・労災保険医療機関指定・日本脳ドック協会認定施設・日本リハビリテーション医学会研修施設・日本認知症学会専門医教育施設・日本医療機能評価機構認定病院・主たる機能：「リハビリテーション病院」3rdG:Ver1.0・副機能：「慢性期病院」3rdG:Ver1.0



■ 日本医療機能評価機構認定病院とは

質の高い医療サービスを提供していくために、第三者機関である、公益財団法人・日本医療機能評価機構が専門的な見地から中立的・客観的な評価を行い、全ての評価項目が認定基準を満たし、認定証が発行されている病院です。



すずかけ ヘルスケアホスピタル

http://www.suzukake.or.jp/healthcare/ E-mail:healthcare@suzukake.or.jp
〒438-0043 静岡県磐田市大原2042-4 TEL:0538-21-3511

